

みえ県議会 だより

NO. 153

平成29年
(2017年)
2月5日



ひのきづかおおくみね
松塚奥峰の樹氷(松阪市)

発行 / 二重県議会 集 / 三重県議会広聴広報会議

〒514-8570 津市広明町13
☎ 059(224)2877 ☎ 059(229)1931 ✉ gikaik@pref.mie.jp
🌐 <http://www.pref.mie.lg.jp/KENGIKAI/>
📱 <http://www.gijiroku.jp/mie/> (スマホ版)



▲議会ホームページ



▲スマホ版議会だより

平成28年三重県議会定例会 11月定例会議 公共事業の追加や第1次産業の競争力強化のための 基盤整備などに伴う補正予算について議論

国の補正予算に対応した公共事業等の追加などに伴う平成28年度一般会計補正予算を可決したほか、平成27年度一般会計・特別会計決算を認定しました。

本号の主な内容

- 1面 本会議審議の結果、会議の開催状況
平成29年三重県議会定例会の日程 ほか
- 2～3面 一般質問、用語解説
- 4面 特別委員会の活動状況
第8回全国自治体議会改革推進シンポジウム
平成28年度第2回三重県議会議員勉強会 ほか

会議の開催状況

(会議の様子は、一部を除き県議会ホームページの「議会中継」からご覧いただけます。)

11月	平成29年度当初予算要求状況の調査
14日 予算決算常任委員会 議案の審査、所管事項の調査 子どもの貧困対策調査特別委員会 執行部からの聴き取り調査	本会議 決議案1件上程・否決、意見書案1件上程・可決
21日 選挙区調査特別委員会 参考人の出席要求 本会議 決算認定議案13件認定、議案42件・諮問1件上程	8日 予算決算常任委員会 平成29年度当初予算要求状況の調査(総括的質疑)
25日 本会議 議案に関する質疑(3人) 総務地域連携常任委員会 諮問の審査	9、12～14日 各常任委員会・分科会 議案等の審査、所管事項の調査
29日 本会議 一般質問(5人)	16日 子どもの貧困対策調査特別委員会 中間報告案について 選挙区調査特別委員会 参考人からの意見聴取等
12月	平成29年1月
1日 本会議 一般質問(4人)	17日 本会議(平成29年定例会開会)
5日 本会議 一般質問(4人)、諮問1件棄却すべき旨答申 子どもの貧困対策調査特別委員会 中間報告案について	
7日 予算決算常任委員会	

※この他にも、議会運営委員会、代表者会議、議案聴取会、広聴広報会議、議会改革推進会議総会など、さまざまな会議を開催しています。

本会議審議の結果

議案の概要、議員別の賛否等の状況などの審議結果や、請願・意見書の内容は、県議会ホームページの「本会議」からご覧いただけます。

可決した議案

- 平成28年度三重県一般会計補正予算(第4号) ほか22件
- 三重県の事務処理の特例に関する条例の一部を改正する条例案 ほか7件
- その他議案
- 当せん金付証券の発売について ほか10件
- 諮問(異議申立てを棄却すべき旨答申)
- 諮問について

認定した一般会計・特別会計決算

- 平成27年度三重県一般会計歳入歳出決算
- 平成27年度三重県債管理特別会計歳入歳出決算
- 平成27年度地方独立行政法人三重県立総合医療センター資金貸付特別会計歳入歳出決算
- 平成27年度三重県母子及び父子並びに寡婦福祉資金貸付事業特別会計歳入歳出決算
- 平成27年度三重県立小児心療センターあすなろ学園事業特別会計歳入歳出決算

採択した請願

- 私学助成について
- 開発許可に係る基準と土砂災害警戒区域等の指定に係る基準の運用等について改善を求めることについて

可決した意見書

- 特定複合観光施設区域の整備の推進に関する法律案について慎重な審議を求める意見書
- 私学助成の充実を求める意見書
- 開発許可に係る基準と土砂災害警戒区域等の指定に係る基準に関する意見書

平成29年三重県議会定例会の日程

三重県議会の会期は通年制となっています。2月から3月までの日程は次のとおりです。

2月 9日	議会運営委員会
13日	全員協議会
15日	本会議(議案上程)、議案聴取会
16日	議案聴取会
22日	本会議(代表質問、質疑)
24日	本会議(一般質問)
28日	本会議(一般質問)
3月 2日	本会議(追加議案上程)
6日	本会議(一般質問、質疑)
7日	予算決算常任委員会(予算総括質疑)
8～10日、13日	各常任委員会及び分科会
16日	予算決算常任委員会
17日	代表者会議、議会運営委員会
21日	本会議(採決)
31日	本会議(追加議案上程、採決)

📺 テレビ中継 📱 インターネット中継

この日程は、平成29年1月6日現在の予定です。最新の情報は、ホームページから「議会の日程」をご確認ください。

インターネット中継・傍聴のご案内

●インターネット中継のご案内

県議会では、すべての本会議、常任・特別委員会、全員協議会、議長定例会記者会見などのインターネット生中継・録画配信を行っています。パソコンからだけでなく、スマートフォンやタブレット端末からもご覧いただけます。議会ホームページの「議会中継」からご覧ください。



スマートフォンから見た際の中継画面

●傍聴のご案内

- 本会議
- ・受付時間 本会議開始30分前から
- ・定員 180人
- ・傍聴の方法

議事堂1階の傍聴者用エレベーターで、6階傍聴受付へお越しください。そこで傍聴券・資料を受け取り、議場へお入りください。手話通訳者・要約筆記者をご希望の方は、事前に議会事務局までお申し込みください。ただし、お申し込み日によっては、ご希望に沿えない場合もありますのでご了承ください。

- 委員会・議案聴取会・全員協議会・代表者会議・広聴広報会議等
 - ・受付時間 会議開始30分前から
 - ・定員 10人(会議開始10分前に定員を超えた場合は、抽選で決定します。)
 - ・傍聴の方法
- 議事堂正面玄関右側の1階受付で傍聴券を受け取り、各室の傍聴者入り口からお入りください。

一般質問

知事の出張旅費のホームページ公開を

山本 里香 議員
日本共産党
四日市市選出



問 前東京都知事の公費出張について、世間で大きな問題になりました。知事は海外出張だけでなく、県内・国内でも活発に動かれています。諸行事参加における公用車利用の記録なども含め、その経費を公開されてはいかがですか。



か。知事の公費出張に関する旅費の支出状況を県民が見られるよう、ホームページで公開する考えがあるのかお答えください。

答 知事の旅費の公表について他府県の状況を調査したところ、公表が確認できたのは4県でした。本県は既に情報公開制度で対応しており、旅費も他と比べ高額でないため、直ちに公表する必要は低いと思えますが、税金の使途の説明責任という観点から、改めて対応を議論して判断したいと考えています。

その他の質問事項
○主権者教育の取り組み
○みえ30人以下学級の矛盾ほか

リニア中央新幹線の三重・奈良ルートと駅位置の早期確定を

長田 隆尚 議員
能動
亀山市選出



問 県では、「リニア中央新幹線の三重・奈良ルートと駅位置の早期確定によるリニアインパクトの最大化について」という要望を国に行いましたが、この要望に込めた知事の想いを聞かせてください。また、愛知県・岐阜県・名古屋市の連携だけでなく、名古屋から西の地域との連携を含めて、今後どう取り組まれるのか聞かせてください。

要望は、三重・奈良ルートによる一日でも早い全線開業とリニア中間駅の確定を求め、県が少しでも早くリニア駅を核とした地域づくりなどの事前の準備に着手するために行いました。今後は、先行事例を参考に、JR東海や国に提案等を行うため、三重・奈良・大阪の連携をさらに強化します。



その他の質問事項
○踏切道における交通の安全について
○ため池の防災・減災対策

ラグビーワールドカップ2019公認チームキャンプ地の誘致について

彦坂 公之 議員
新政みえ
鈴鹿市選出



問 2019年に日本で開催されるラグビーワールドカップの公認チームキャンプ地に、鈴鹿市が申請手続きを行う予定です。県が推進するスポーツを通じた元気な三重づくりの取り組みと合致し、また、キャンプ地となれば観光等のサービス産業への波及効果が大きく、地域への経済効果も期待できます。鈴鹿市のキャンプ地誘致に対する県の対応について聞かせてください。



三重交通Gスポーツの社務所サッカーラグビー場

公認チームキャンプ地の誘致に向け、県ラグビー協会等と協議を重ねてきました。このたび、関係者間で協議が整いましたので、県と鈴鹿市が共同で申請を行います。平成29年夏頃に候補地が選定される予定であり、引き続き、組織委員会から情報収集を行いつつ、候補地に選定されるようPRしてまいります。

その他の質問事項
○自動車関係諸税の抜本的見直しについて
○三重県海外ビジネスサポートデスクについて

名松線の利用促進と沿線地域の活性化を

青木 謙順 議員
自民党
津市選出



問 平成28年3月、JR名松線は関係者の協力により全線復旧を果たしました。沿線が過疎化の進んでいる地域であることから、名松線の利用促進および沿線地域の活性化が今後重要になります。県としてどのような取り組みを行ってききましたか。また、名松線梅酒・清酒のような沿線の観光資源を活用した観光振興を進めてはどうかと考えますが、いかがですか。

名松線全線運転再開後は、復旧までの経緯と沿線の魅力ある観光資源をパネル展示で紹介するなど、各地で啓発活動を行っています。沿線は特産品や豊かな自然・歴史・文化をはじめ、梅酒と清酒を組み合わせた「名松線紅白セット」の地域資源に恵まれています。これらを生かし、今後津・松阪市等と連携して県内外からの利用・誘客促進に努めます。



梅酒と清酒を組み合わせた「名松線紅白セット」

その他の質問事項
○農福連携および有機農業の促進
○津市北部地域の観光振興

高校生に育ててもらいたい力とは

濱井 初男 議員
新政みえ
多気郡選出



問 子どもたちが将来活躍するために求められている力は、直面するさまざまな変化を柔軟に受け止め、主体的に学び、試行錯誤したり、他者と協働したりして、新しい価値を生み出していく力だと思いませんか。現在、現



在国で改訂に向けた検討が行われている新学習指導要領を見据え、高等学校においても、どのような力を子どもたちに身に付けさせたいと考えていますか。

答 国が検討している次期学習指導要領では、これまでの「何を学ぶか」にとどまらず、「どのように学ぶか」までを見据えて改善が進められています。高校生には、社会の形成者としての教養や行動規範、自分の夢や目標を持ちながら社会への参画を見据えて主体的に学ぶ力などが必要だと考えています。

「山・鉾・屋台行事」のユネスコ無形文化遺産登録について

木津 直樹 議員
自民党
伊賀市選出



問 ユネスコ無形文化遺産「山・鉾・屋台行事」に三重県の3つの行事が同時に登録されました。熊野参詣道が世界文化遺産に登録され有名になった例もあり、伊勢志摩サミットの成功をチャンスと捉える三重県にとって、この3行事の無形文化遺産登録は更なるチャンスの到来だと思います。今回の決定について、知事の所感を聞かせてください。

行事の保存会や関係者の皆さんに心からお祝いを申し上げます。今回の登録は、高齢化により地域の伝統行事の存続が厳しくなる中で、世代を超えて伝承していただくべき行事の保存や関係者の皆さんに心からお祝いを申し上げます。今回の登録は、高齢化により地域の伝統行事の存続が厳しくなる中で、世代を超えて伝承していただくべき行事の保存や関係者の皆さんに心からお祝いを申し上げます。



登録された伊賀市の「上野天神祭のタシシリ行事」

その他の質問事項
○伊賀地域の観光振興について
○農業の振興と獣害対策について

「食品ロス」削減に向けた県の取り組みは

津村 衛 議員
新政みえ
尾鷲市・北牟婁郡選出



問 飲食店での食べ残しなど、本来食べられるのに捨てられる食べ物のいわゆる「食品ロス」は、国内で年間約600万トンあります。これは日本人一人あたりお「おいしい奥きり」茶碗1杯分の食品を毎日捨てている計算です。平成28年10月に設立された「全国おいしい食べきり運動ネットワーク協議会」にもも参加していますが、今後の食品ロス削減に向けた取り組みについて聞かせてください。



同協議会では、宴会シーズンに向け、全国共同キャンペーンを実施することとしています。また、県では「みえ環境フェア2016」での啓発活動を行います。G7でも食品ロス最小化等の取り組みを推進することとされており、今後さらに食品関連事業者等と連携した食品ロス削減に向けた取り組みを進めます。

その他の質問事項
○三重まるごと自然体験構想について
○漁業振興について

国道260号整備の推進を

村林 聡 議員
自民党
度会郡選出



問 国道260号は南伊勢町を背骨のように貫く、唯一そして替えのきかない幹線道路です。防災・救急・通勤・産業など、あらゆる物事がこの国道がないと始まりません。最近では錦峠区間と木谷区間の整備が完了し、12月には南島バイパスが供用開始予定ですが、残された東宮―河内間の整備が大きな課題となつています。この区間の整備の取り組み状況を聞かせてください。



答 この区間の整備については、防災安全交付金による事業となるよう実施計画の作成等の準備を進めています。中でも、特に幅員が狭く、急カーブが多い東宮橋から東宮坂隧道までの区間を最優先とし、予備設計を進めています。その他の区間についても、今後南伊勢町と調整していきます。

その他の質問事項
○林業振興について
○拠点漁港の位置付けと漁港・漁場の予算確保
ほか

地域の自主防災組織への支援を

廣 耕太郎 議員
新政みえ
伊勢市選出



問 巨大地震に対する防災対策として、地域に密着した自主防災組織の活動が重要です。自主防災組織が有効に活動するためには、人材育成だけでなく、救助に使うジャッキやボール等の資機材が必要です。県として、自主防災組織に必要な資機材の整備基準を示した上で、基準を満たさない場合には支援すべきと考えますが、いかがですか。

答 自然条件等の違いから、資機材の整備基準を画一的に示すことは難しく、地域毎に十分検討する必要があります。支援については、県と市町が役割分担のうえ、資機材整備は地域の実情に応じて市町で行い、県は地域防災リーダーの人材育成や職員派遣による活動活性化などに取り組みたいと考えています。



その他の質問事項
○自衛隊の協力および連絡体制の構築について
○SCU（広域搬送拠点臨時医療施設）の果たす役割について
ほか

林業大学の設立について

西場 信行 議員
自民党
多気郡選出



問 知事は、平成27年4月の知事選挙の際に、林業大学の設立を公約として出しましたが、設立に向けての情熱が変わりはないのかを聞かせてください。また、有識者による検討委員会を立ち上げて、林業の人材育成方針の策定を進めていると聞いていますが、肝心の林業大学設立に向けたスケジュールがどうなっているのか、聞かせてください。



チェーンソーの実技指導の様子

答 林業大学の設立に向けての思いは少しも変わっており、林業大学校のあり方について、より具体化できるよう議論を深めていきたいと考えています。具体的なスケジュールは、三重の森林づくり基本計画の見直しや検討委員会等の検討状況によって前後しますが、平成30年度をめどと考えています。

その他の質問事項
○農業政策と米「30年問題」
○国史跡斎宮跡の保存活用
ほか

三重県民の幸福度について

舟橋 裕幸 議員
新政みえ
津市選出



問 日本総合研究所発行の「都道府県幸福度ランキング」では、判断指標として客観的データを用いています。一方、「みえ県民意識調査分析レポート」の県民の幸福実感度は主観的判断が中心です。知事は「幸福実感日本一」を掲げ、県民幸福度の向上に力を入れていますが、客観的データに基づく調査結果をどのように考え、どのように政策に反映していくつもりですか。

答 客観的データの活用は大変重要であり、県では常に具体的なエビデンス（証拠・根拠）に基づき、政策の検討を行うよう努めています。皆さまが日々の暮らしの中で幸福を実感することが何より大切であり、県民の幸福感と主観的データと、統計調査などの客観的データの両方を用い、効果的に政策を推進していきます。



その他の質問事項
○ポストサミットについて
○三重とこわか国体について
ほか

セイラーズフォーザシーの包括協定締結を機に目指すものは

中嶋 年規 議員
自民党
志摩市選出



問 県と世界的な海洋環境保護活動団体「セイラーズフォーザシー」は、海洋環境保護教育の推進、県産水産物の持続的な利用等を内容とする「県産水産物の持続可能な利用及び水産物の発展に関する包括協定」を締結することになりました。協定締結により、今後どのような取り組みを具体的に展開し、何を指すのかを聞かせてください。



セイラーズフォーザシーのロゴマーク

答 資源量が豊富な魚介類（ブルーシーフード）のメニューを取り扱う飲食店等の認定促進、団体開発の教材を用いた環境教育の推奨などを考えています。今回の包括協定締結を契機に、三重の水産物や水産業を持続可能な産業の視点から世界レベルに高め、「水産王国みえ」の復活につなげていきたいと思っています。

その他の質問事項
○不登校の子どもたちへの支援を
○パール宣言を受けて、認知症への対応
ほか

用語解説

1 リニアインパクト

リニア駅を核とした周辺地域へのアクセス向上や駅周辺の再開発など、リニア中央新幹線の開業によってもたらされるさまざまな社会的・経済的影響のことです。

2 ユネスコ無形文化遺産

儀式及び祭礼行事や芸能など、無形の文化遺産の保護を目的とした、ユネスコ（国際連合教育科学文化機関）事業の一つです。今回登録が決定した「山・鉾・屋台行事」のほかに、国内で登録されているものとして「歌舞伎」「和紙」等があります。

3 全国おいしい食べきり運動 ネットワーク協議会

平成28年10月に福井県が主体となって設立された、全国の自治体が任意で参加する組織です。「おいしい食べ物を適量で残さず食べきる運動（11食べきり運動）」等により3R（発生抑制、再利用、再生利用）を推進するとともに、食品ロスを削減することを目的としています。

4 G7（ジーセブン）

日本、アメリカ、イギリス、フランス、ドイツ、イ

タリア、カナダの7か国のことです。伊勢志摩サミットは、この7か国の首脳に加え、欧州理事会議長と欧州委員会委員長が参加して開催されました。

5 SCU（広域搬送拠点臨時医療施設）

SCUとは、staging care（ステージングケア）の略で、大規模災害時にけがや病気の人が被災地の外へ搬送する際、長時間の搬送のために必要な処置等を行うため、広域搬送拠点に設置される臨時医療施設のことです。

6 一般社団法人セイラーズフォーザシー日本支部

平成16年に設立された米NPO団体セイラーズフォーザシーの日本支部として、平成23年に発足しました。海洋環境保護教育を通して持続可能な社会をめざし、次世代に美しい海を受け渡すために、学習の機会提供等を行っています。

7 パール宣言

平成28年10月に四日市市で開催された「認知症サミット in Mie」において議論された結果を、提言として発表したものです。認知症施策の今後のあり方について、国際連携、地域支援、医療・産業連携、医療システム、介護システムの5項目でまとめられています。

特別委員会の活動状況

各特別委員会の県内・県外調査の状況をご紹介します。

子どもの貧困対策調査特別委員会

子どもの貧困対策（雇用、福祉、教育など）について調査します。
【県外調査の状況】10月20日～21日実施

子どもの貧困対策の先進事例について、東京都内で調査を行いました。NPO法人「ブリッジフォースマイル」では、児童養護施設から社会へ巣立つ子どもたちの自立支援の具体的取り組みについて、大学等と連携して全国調査や国への政策提言等を行っている公益財団法人「あすのば」では、研究データ等に基づき子どもの貧困対策について調査・意見交換を行いました。

また、「子どもの貧困対策の推進に関する法律」が成立する以前から、区独自で取り組みを進めてきた荒川区では、これまでの成果や今後の課題について調査しました。



東京都荒川区での調査

サミットを契機とした地域の総合力向上調査特別委員会

サミットを契機とした地域の総合力向上について調査します。

【県内調査の状況】10月20日実施

ポストサミット事業の取り組み状況等について、伊勢市・鳥羽市・志摩市から聴き取り調査を行いました。

「広域的に連携し、インバウンド（訪日外国人旅行）に力を入れていきたい」、「サミットで知名度が高まった影響により、移住相談やふるさと納税の件数が伸びている」等サミット後の状況について説明を受けた後、質疑応答を行いました。委員からは、サミット後の情報発信に関する県への要望、サミットで得られた観光データの活用等について、質問や意見が出されました。



志摩市での調査

選挙区調査特別委員会

県議会議員の選挙区・定数について調査します。

【県内調査の状況】11月4日実施

県議会議員の選挙区および定数について、平成26年5月の条例改正により、定数等が変更となった地域の市町長、議長等との意見交換のため、午前は尾鷲市、午後は伊勢市の会場で県内調査を実施しました。

出席者からは、「一票の格差是正のため、面積が広く人口減少が進み、課題の多い南部の地域ばかり議員の数が減ることについて考慮してほしい」との意見が出されたほか、「地域として現在の議員数を残してほしい思いはあるが、改正した条例に基づいてほしい」との意見が出されました。



尾鷲市での調査

第8回全国自治体議会改革推進シンポジウム

11月9日に、四日市都ホテルで「第8回全国自治体議会改革推進シンポジウム」を三重県議会の主催で行いました。

今年度は、平成18年に三重県議会で議会基本条例が制定されて10年の節目の年であることから、テーマを「議会基本条例が開く議会の未来」とし、条例の制定を契機に議会がどのように活性化され、今後どのように展開するのかなど、具体的な事例を交えながら議論を深めました。

当日は、全国の64自治体議会などから、253人の方にご参加いただきました。はじめに、東京大学大学院の金井利之教授に基調講演をいただいた後、同志社大学大学院の新川達郎教授をコーディネーターとして、金井教授、会津若松市議会の目黒章三郎議長、由布市議会の小林華弥子議員、三重県議会改革推進会議の三谷哲史会長によるパネルディスカッションと意見交換を行い、参加者との交流・連携を深めました。



平成28年度第2回三重県議会議員勉強会

県政を取り巻く諸課題等の中から、学習の機会を設け、更に見識を深めるため、11月25日に第2回三重県議会議員勉強会を開催しました。今回は、「手話の普及をめぐる現状と課題」をテーマとし、群馬大学の金澤貴之教授を講師にお招きしました。

金澤教授は、聴覚障がいのある学生への支援や手話の導入などを研究されており、群馬県での手話言語条例の制定などに尽力されました。講演では、これらのご経験を踏まえながら、手話に関する施策のポイントをお話いただきました。

施策のポイントとして、医療機関への啓発や教員の研修を進めること、タブレットなどを活用して遠隔手話通訳などを進めることが大切であると指摘されました。また、聴覚障がい者は、緊急時の情報に取られやすく、音声以外の避難情報の提供などを進めるべきであると指摘されました。

県議会では、議会活動計画の取り組みの一つとして、専門的知識を有する外部有識者等を招いた議員勉強会を開催しています。



講師から手話を学ぶ議員

第16回都道府県議会議員研究交流大会

11月15日、東京都で「第16回都道府県議会議員研究交流大会」が開催されました。これは全国の都道府県議会議員が集まり、共通する政策課題などについての情報・意見交換を行うもので、本県からも10人の議員が参加しました。

最初に、「地方議会人の挑戦」変化する首長と議会改革の成果」をテーマに、中野章明治大学名誉教授から基調講演がありました。

その後、「議会の透明性の確保」、「議会の政策立案機能の強化」などの5つのテーマの分科会に分かれ、先進事例の発表や意見交換が行われました。



基調講演の様子

みえ県議会出前講座

県議会をより身近に感じていただき、将来の住民自治を担う県民としての意識を育んでいただくことを目的に、「みえ県議会出前講座」を実施しています。

平成28年度は7月に県立飯野高等学校、11月に熊野市立飛鳥中学校で出前講座を行いました。講座では、県議会の役割と仕組みのほか、有権者として議員を選ぶことの大切さなどを説明しました。

講座を受けた生徒からは、「議員の仕事を知ることができて良かった」「18歳になったらしつかり考えて、任せられる人に投票したいと思う」といった感想をいただきました。

みえ県議会出前講座は、学校からの申し込みを受けて実施しています。ご希望の方は議会事務局までお問い合わせください。



飛鳥中学校での出前講座の様子

お知らせ

●自治功労者表彰

平成28年11月21日の本会議で、永年にわたる県政への功勞に対し、全国都道府県議会議長会の自治功労者表彰が議長から伝達されました。

自治功労者表彰(在職10年以上) 津田 健児 議員

●会派の名称変更

平成28年12月9日付けで、次のとおり会派の名称が変更されました。

- (旧) 草の根運動みえ
- (新) 草の根運動いが